秋田県特色ある教育活動支援事業

実施内容名	ことばと心が磨かれた，キラリと光る西目っ子育成プロジェクト
実　施　日	平成２２年４月１日～平成２４年３月１０日（２年間）

1　実施の概要

(1) 実施の目的

西目小学校のある西目地域は，豊かな自然・文化・歴史・人的環境に恵まれた地域であるが，子どもたちがそのすばらしさを十分に認識しているとは言い難い。この実態を受け，事業を通じて，子どもたちが詩や俳句などの創作活動や表現活動を通して，ことばの美しさや地域のすばらしさに気付き，地域を愛し，ことばと心が磨かれた創造性豊かな子どもに育つことを願っている。また，地域の方々の指導を受けながら，子ども・学校・地域の財産となるスクールソングを創ることによって，将来地域に根ざして生きていこうとする地域を担う人材を育てる上で大きな効果があるものと考えている。

(2) 実施１年目（平成２２年度）の内容

①俳句教室

《ねらい》俳句のおもしろさを知り，創作や鑑賞の仕方を学び，言葉の感性を磨く。

◇第１回俳句教室　　平成２２年７月１２日(月)

講師と創作テーマ　　俳人　櫂　未知子　氏　　テーマ「水遊び」　　４・６年生

俳人　神野　紗希　氏　　テーマ「夏の道具」　３・５年生

◇第２回俳句教室　　平成２２年１１月１８日(木)

講師と創作テーマ　　俳人　櫂　未知子　氏　　テーマ「冬・温める」　　４・６年生

俳人　神野　紗希　氏　　テーマ「初　～自分への年賀状」

・　４年生と６年生は，冬をテーマにした句作を行った。冬に温める道具として使われる温石，帽子，手袋，懐炉(紙カイロ）等を実際に手にして一句を作った。子どもたちは昔ながらの温める道具にとても興味をもち，そのぬくもりを肌で感じ，思いを五七五に乗せていた。

あったかい　母の手のよう　湯たんぽだ　（４年児童）

寒い冬　白冬帽子　かぶる木々　（６年児童）

◀句会で児童の句を講評

②朗読教室　　平成２２年９月６日(月)〈３・４年生〉　９月１３日(月)〈１・２年生〉

《ねらい》言葉の響きを感じながら詩や文章を朗読することで，イメージを広げ，楽しむ。

講　師　　グループ「かぜ」　谷　京子　氏

・　詩のテキストを事前に児童に配り，学級で音読練習を行った。朗読教室では，テキストを基に発声や笑顔で響かせる声作りを行い，言葉を具体的にイメージして頭の中に描くことなどを教わった。詩のイメージをふくらませることで，子どもたちの表情や声が変わっていった。詩を読むということが単に声を出すのではなく，詩の言葉の想像の世界が言葉の響きとなって表れることを学んだ教室となった。

▲朗読の手本を示す谷先生

▲創作の魅力を語る角野栄子氏

③物語の教室　平成２２年１１月８日(月)　　５・６年生
《ねらい》物語の創作にかかわるお話を聞き，物語の魅力を知ることで，自分たちの読書活動や創作活動を想像豊かに楽しむことができる。
講　師　　児童文学作家　　角野　栄子　氏
・　全県の図書館から角野栄子氏の作品を取り寄せて，読書環境を整え，いつでも本を手にすることができるようにした。５・６年生は「角野ワールド」と題したファイルを用意して，角野作品の資料や自分が読んだ本の感想などを蓄積した。角野先生の講演では自由に想像することの尊さや楽しさを教えていただいた。これまでの作品作りにかかわるエピソードや思い入れのある本の紹介などもあり，作家として生きるプロの方のお話を直に聞く絶好の機会となった。

④スクールソングの制作
《ねらい》児童会の主体的な活動を中心にスクールソングを創る活動を通して愛校心を育み，学校のよさ，ふるさとのよさを見つめ，誇りをもってふるさとを愛する心を育てる。
講　師　シンガーソングライター　茅野　輝繁　氏

▲CDレコーディングに挑戦

・　児童会からの呼びかけで西目小児童や西目小学校，西目地域のよさを表した言葉を全校児童に募った。「元気」「ひまわり」「笑顔」などの言葉が集められ，児童会の実行委員を中心に歌詞を作った。作曲は地元で音楽活動をしている茅野氏にお願いし，「NEWS　！毎日が発見」が完成した。実行委員による披露，全校練習を経て，CDレコーディングを行った。CDは全児童に配布し，２月には記念コンサートを実施し，西目地域に歌声とともに西目を愛する心を届けることができた。

２　実施の成果

(1)指標Ⅰ　アンケート調査(詩・俳句教室の後で，以前と違うものの見方やとらえ方で創作する)

	実施前・現状	実施１年目	実施２年目	
目標	データなし	自己の変化を感じる割合50%	前年度＋30%	自己の変化を感じる子どもの割合80%
実績		64%		

(2) 指標Ⅱ　各種コンクールでの入賞者数

	実施前・現状	実施１年目	実施２年目	最終目標
目標	入賞者なし	全校で入賞者　10人	前年度＋10人	全校で入賞者　20人
実績	なし	52人		

(3) 指標Ⅲ　全国学力・学習状況調査児童質問紙の質問番号５２「国語の勉強が好きですか」で，「１．当てはまる」「２．どちらかといえば当てはまる」と答えた子どもの割合

	実施前・現状	実施１年目	実施２年目	最終目標
目標	H21年度	前年度＋2%	前年度＋3%	H21比＋5%
実績	71.2%	84.9%		
全県	66.5%	69.8%		
全国	58.3 %	28.1%		

(4) 指標Ⅳ　全国学力・学習状況調査「国語Ｂ：主として活用」の正答率

	実施前・現状	実施１年目	実施２年目	最終目標
目標	H21年度	前年度＋3%	前年度＋3%	H21比＋6%
実績	59.4%	73.3%		
全県	60.4%	84.8%		
全国	50.5%	77.8%		

(5) 指標Ⅴ アンケート調査（将来西目地域に住み，地域の発展に寄与したいと考えるかどうか。）

	実施前・現状	実施１年目	実施２年目	最終目標
目標	データなし	はいの割合60％	前年度＋20％	はいの割合　80％
実績		60%		

〔今年度の成果と次年度に向けての課題〕

○　俳句や詩等の創作活動を通して，子どもたちの言葉の感性は豊かになってきている。ただ創作するだけでなく，他の言葉に言い換えながら作品を推敲したり，友達の作品のよさを的確にとらえて伝え合ったりすることができるようになってきている。一つの言葉を大切にする感性は他の読み物を読んだり，自分の思いを作文等に書いたり，スピーチ等で話したりするときにもよい影響を与えていると思われる。本物の豊かな感性に触れることで憧れを抱き，言葉を大切に扱う人になりたいと思い，創作活動等の学習での新たな目標をもつことができた。

●　言葉に対する意識の高まりを他教科・領域にもっと広め，より主体的な学習活動や体験活動につなげていくことで，自分らしさを一層発揮できる子どもに育てていきたい。

３　平成２３年度実施計画

○話し方教室：今田裕美子氏（天童市在住）
○演劇公演：「劇団濤」代表 佐々木孝悦氏（西目町在住）　他劇団員の皆さん

・運営組織
校内国語部・音楽部を中心として，全校体制で運営

・実施内容、実施形態、実施方法、実施学年・組・人数
○話し方教室
２回に分けて，第１回目は４・５・６年生全員（５年生４９人，６年生５６人，各２学級ずつ）を対象として，学年ごとに発声や朗読を中心とした話し方教室を実施する。２回目は下学年に対して実施する。
○演劇公演
６年生を中心としながらも，全校児童が何らかの形で出演する全校劇の公演を行う。題材は，ふるさと西目の美田を築く基礎となった，江戸時代の西目潟干拓を描く「西目潟干拓物語」とする。（２３年１１月のあすなろ発表会にて公演予定）

・事前指導、事後指導の計画を含む全体計画
○話し方教室
事前指導：これまでも継続実施されてきた，各学級での音読タイムや全校での音読集会を活用し，ことばを声に出すことのよさやすばらしさを感得させておく。
当　　日：４・５・６年の各学級それぞれ１時間を使用して，講師の先生による「話し方教室」を実施し，発声や朗読の仕方について指導していただく。
1)講師紹介
2)滑舌・発声・朗読の指導
3)謝辞
事後指導：身に付けた発声法や朗読法を生かし，劇でのよりよい表現につなげる。
○演劇公演
事前指導：音読タイムを活用し，発声や朗読の練習を日常的に行う。
５月：昔語り,演劇鑑賞等によるオリエンテーション。
６月：脚本を児童に提示。
７月：配役決定。（夏季休業中に脚本読み込み）
９月：練習開始。
１１月：あすなろ発表会にて公演。
事後指導：ビデオライブラリーとして公演記録を保存。

・児童生徒の安全面についての配慮
校内での活動となるので，基本的に生命に関わる危険はないと考えられる。日常的な安全指導を継続する。